

# 男子団体2年連続の快挙!

経スボ



期待のルーキー・井上（人科4年）が出場し、強気に攻めるも、不意に一本を奪われてしまった。重いムードが漂う中、堅実かつ粘り強さが売りの中堅・木下（経営4年）、イントンハイで優秀選手賞を獲得したこともあり三将・川口（人科3年）が驚異の粘りで引き分けに持ち込み、抜群のリーダーシップで主将を務める副将・橋（人科4年）が見事な一本を奪い、勝利チームも大いに活気付く。

一回戦、京都薬科大学に1-0と完勝し、金賞が二本勝ちを收める完璧な滑り出しであったが、二回戦では強豪・園田学園女子大学と対戦し、1-3で惜しくも敗退。現在女子は寺井・松下（科3年）を筆頭に、チーム作りの真っ只中である。女子部員は7名と徐々に増えており、戦いぶりも毎年有期徒りきる内容があった。今後ますます強くなることは間違いない。

そして男子団体三回戦、全日本三位に輝いたことがあり、昨年も



平成27年9月27日(日)、大阪市立中央体育館にて第63回関西学生剣道優勝大会ならびに第39回関西女子学生剣道優勝大会が開催された。滋

賀大学や立命館大学といった強豪校を相手に果敢に攻め続け、男子団体は見事二年連続で全国大会出場権を獲得した。

男子団体は一回戦、昨年同様大谷大学と対戦した。上段構えからの攻撃的な剣道が持ち味の先鋒・岡本(情社4年)、今春のレギュ

「一」に返り咲いた次鋒・片岡(入科3年)が続けて二本勝ちを收め流れもそのまま「快勝」した。  
続く二回戦 相手は昨年度ベスト8に輝き、全日本にも出場した滋賀大字。次鋒・片岡が鮮やかに二本勝ちを收めるが、二回戦で出場した次期主催候補の野村・岡田経

A blurry, low-light image showing several people in dark clothing gathered around a table or counter. The scene appears to be indoors, possibly a restaurant or a social gathering.

A fencer in a blue uniform and green glove holds a sword, looking towards the right. A referee in a black suit stands behind them, holding a red and white flag. The background shows a wooden floor and a white line.

A close-up shot focusing on the lower half of a person's body. They are wearing black trousers and white athletic shoes. The background consists of light-colored wooden floor planks.

10 of 10

済4年)が執念を  
見せるも、徐々に  
疲労が見え始めた  
ところ、立命館の  
主将・角河に一本  
を奪われ、惜敗。  
芦屋大学との敗者  
復活戦に賭ける

ちしております。草薙 信照（剣道部 部長）

# 剣道部2年連続全日本出場!

**発刊：大阪経済大学  
スポーツ・文化振興課**

三

久野 数馬（剣道部監督）

今回剣道部は2年連続で全日本学生剣道優勝大会に出席することができました。今回全国大会に出席できたのは、稽古をつけていた先輩方や、会場に来て応援したくださった方々のおかげだと思っています。

今まで私たちをサポートしてくださった方に恩返しするために私たちも全関西の大会では意地を出せたと思います。昨年の全国大会では1回戦負けに終わってしまったので、今年は2回戦以上に進出できるように、これからも久野監督指導のもと、日々努力していくたいと思いします。宜しくお願ひします。

橋 大地（剣道部主将）

今回、神作学生剣道優勝大会において、昨年の4年ぶりの出場に連続して全日本大会への出場権を獲得させて頂きました。これは一重に剣道部の力だけではなく、いつも変わらぬご支援、ご指導いただけております。そこで、皆様のお陰であるここにあらためて心から感謝申上げます。特に今年は、あらためて、この檜舞台である日本武道館で試合が出来る喜びと温かく応援頂けて、いる多くの方々への感謝の気持ちを胸に、あと一ヵ月さながらに稽古に励み、全身全霊を懸けて試合に挑む覚悟です。どうか今後共に声援の程

まさに薄氷を踏むような思いでしたが、二年連続の全国大会出場を果たすことができました。今、つくづく思うことは、基礎を鍛えることの大切さ——およそ3年かかりで取り組んできたことが、ようやく実を結んできたといえるでしょう。もう1つは団体戦の醍醐味——7人が一丸となって相手チームに立ち向かい、各人がそれぞれの持ち味を発揮してくれました。全国大会においても、日頃の鍛錬の成果を惜しみなく發揮してくれることでしょう。皆さんからの熱い声援をお待ちしております。

V  
O  
I  
C  
E